

世界の最先端化粧品技術を競う学会 第28回 国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)世界大会にて ポーラ化成工業が、5件の論文を発表します

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:岩崎泰夫)は、10月27日~30日にフランス・パリで開催される第28回国際化粧品技術者会連盟(以下IFSCC)世界大会において、口頭発表3件、ポスター発表2件の論文計5件を発表します。発表する内容は、今後ポーラ・オルビスグループの商品開発に応用されます。

IFSCCは、世界47カ国・総会員数15,000名以上が加盟しており、加盟者は年々増加しています。化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会であり、これまでの受賞内容は化粧品の最先端技術として応用・実用化され、化粧品市場の発展を支えてきました。世界大会(Congress)は、2年に一回、西暦偶数年に開催されます。

前回、2012年に南アフリカ共和国のヨハネスブルクで開催された第27回大会では、ポーラ化成工業の研究者・本川智紀が発表した研究論文『新規メラノサイト活性化成分アドレノメジュリンの同定とそのメカニズム』が、ポスター発表部門において最優秀賞を受賞しました。現在までの同大会におけるポーラ化成工業の受賞回数は6回を数え、受賞回数ランキングでは世界第3位とトップクラスとなります。

口頭発表

- ① 論文タイトル:『月経周期におけるニキビ悪化と皮膚抗菌ペプチドhBD-3の関連性』
英文名: Antimicrobial peptide human beta defensin-3 (hBD-3) as a key factor for acne flare-up during the premenstrual stage
発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 肌分析研究室 後藤 悠
- ② 論文タイトル:『パウダー化粧品とスキンケアのハイブリッド: ラメラ相コーティングパウダーファンデーションの開発』
英文名: Hybrid of Powder Foundation and Skincare Function
発表者: ポーラ化成工業(株) 開発研究部 メイクアップ開発室 堀江 亘
- ③ 論文タイトル:『肌の輝きを想起させる製剤の開発』
英文名: Development of a formulation that evokes glowing skin
発表者: ポーラ化成工業(株) 開発研究部 メイクアップ開発室 西川 正一郎

ポスター発表

- ④ 論文タイトル:『核膜異常によるシワ形成メカニズム』
英文名: Nuclear-membrane dysfunctional skin wrinkle formation
発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 竹内 啓貴
- ⑤ 論文タイトル:『メラニンキャップの消失に着目した新しい美白メカニズムの解明』
英文名: A new skin-brightening mechanism with focusing on unwelcome over-produced melanin-cap in keratinocytes
発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 三輪 隆博

【参考】ポーラ化成工業による過去のIFSCC世界大会受賞歴

2012年	ヨハネスブルク大会	最優秀賞 (ポスター発表部門)
2008年	バルセロナ大会	最優秀賞 (基礎研究部門)
1998年	カンヌ大会	最優秀賞
1996年	シドニー大会	優秀賞
1994年	ベネチア大会	最優秀賞
1986年	バルセロナ大会	優秀賞